

we support!

RQ  
市民災害  
救援センター

復興支援  
かわらばん

すけやきた

しんぶん

「東北に黒霧を送ろう!大作戦しんぶん」改め  
小雪朝日

雪に埋もれる  
その前に  
明るい春の  
ちねまこ



緊急告知

あれからもうすぐ9ヶ月  
西表で東日本大震災を考える

# 師走の夜のゆんたく会

開催決定のお知らせ

東部地区：平成23年12月2日(金)より7時半～ 竹富町立交流センター  
西部地区：平成23年12月3日(土)より7時半～ 西表島エコツーリズム協会  
会費：500円(お茶とお茶菓子つき)中学生以下200円

## ゆんたくメンバー

- ・坂内由紀さん  
(沖縄県の支援団に加わり岩手県大船渡市で保健師として活動)
- ・余語晶子さん  
(NPO法人日本エコツーリズムセンターRQのボランティアとして宮城県唐桑半島で活動)
- ・みなさん

遠い東北の地で起きた未曾有の大災害  
まだ事態は収束したわけではありませんが  
西表から被災地にとんで活動してきたお二人を交えて  
振り返り、語り合いませんか  
何もできず歯がゆかった思い出も 島でできるさまざまな支援の情報も  
すべてが 明日につながります  
どうぞ どなたでもお気軽にお越しください  
「お茶っこ」(東北版ゆんたく(お茶とお茶うけつき))いたしましょう

主催：西表島エコツーリズム協会

忘れられない一年が過ぎてゆこうとしています  
私達は何をしたのか、何ができたのか、いま何ができるのか  
すっかり冬になった東北地方に思いを馳せながら語り合いませんか  
多くのおみなさまのお越しをお待ちしております



RQからのお便り  
(11月22日)

今日は、また登米と河北に向けて7名が出発しました。

昨日(21日)は現地の人と電話で話しているとき、「初?雪が降ったんです!」と話していました。だいぶ冷え込みが進んでいますが、現地の彼らは越冬に向けて準備しています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

## タコさんタワシ続報



南三陸で作られるエコたわしが「タコ」なのは、南三陸町の志津川がタコの名産地だったからだそうです。西の明石、東の志津川といわれ「かむほどにアワビの味がする」逸品でした。

タコさんには、一つずつタグがついています。「南三陸町志津川の○橋△子が作りました。マスクットとして、エコたわしとして、どうぞ」

返事が送れるよう、連絡先も書かれています。購入者からは「子供たちの自然体験キャンプで使いました」という手紙、子供たちからのメッセージや写真などが届き、作り手の笑顔につながっていきます。

「被災地のニュースがどんどん減って『忘れられる』ことがみなさん辛いのです。どうかこのプロジェクトを通して、関心を持ち続けて下さい」と、RQWの石本めぐみさんはいいます。

材料を支援すること、作品を買うこと、手紙を交換すること、ほんの少しの縁作りが、生きる助けになっていきます。

そして、縁の作り方を覚えることも、未来の災害を生き抜く力になっていくのです。(タワシ人気に伴い、材料や道具が不足しています。かぎ針やとじ針、アクリル毛糸などをお持ちの方、ご支援下さい。詳細は日本エコツーリズムセンターRQまで)